

えひめの子どもたちへのメッセージ

～みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、確かな行動に表そう～



愛媛県教育委員会教育長 田所 電二

県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ「えひめいじめSTOP!」デー。以前は、小中学校の代表者による「子ども会議」等を開催していましたが、コロナ禍で一か所に集まるのが困難になったため、オンライン形式での開催に変更したところ、全国でも類を見ない愛媛県ならではの取組として、小学6年生と中学1年生を中心に約23,000人が参加し、みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、事前に配信したミニ動画や演劇による問題提起、リアルタイムでのアンケートなどを通して、熱心な議論が行われました。その中で意見として出された、「自分自身を見つめること」や「友達の個性や考えの違いを認めること」は、ライブ授業でもお話をあった「人とよりよく関わる方法」に通じるものであり、児童生徒の皆さんがいじめ問題に真剣に向き合っている大変心強く感じました。

「えひめいじめSTOP!」デーは、いじめ問題の解決に向けた一つのステップです。次のステップは、皆さんが、今後、確かな行動につなげていくことです。話し合いで気付いたことを、日常の行動に表すことで、変化が生まれます。はじめの変化は小さくても、積み重ねていけば、必ずや大きな変革をもたらすことができます。いじめの起こりにくい学級・学校づくりに向け、皆さん一人ひとりが考え、実践してほしいと願っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが学校で安心して学べる環境をつくるためには、いじめ問題について当事者意識をもって考え、地域社会全体で人を尊重する精神の涵養や、いじめを見逃さない雰囲気醸成することが大切であると考えます。子どもたちの考えや意見を尊重しながら、豊かな感性を育み、見守り、支えていただきますようお願いいたします。

最後に、「えひめいじめSTOP!」デーの開催に当たり、ご理解とご協力をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

愛媛県教育委員会
人権教育課
2024年(令和6年)
2月発行

えひめ愛顔の子ども新聞



みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために

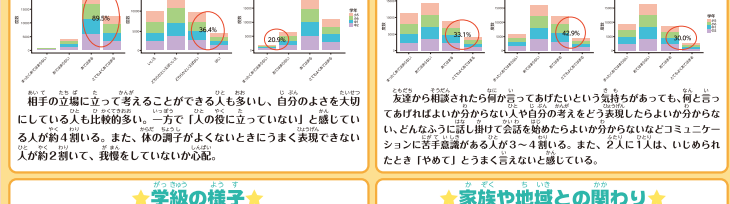
県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!デー開催

令和5年11月16日(木)、宇和島市立南予文化会館をメイン会場に、県内すべての市町をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!」デーが開催されました。小学校6年生と中学校1年生を中心に約23,000人が参加し、みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるためにはどうすればよいかについて話し合い、考えを深めました。

小5～中2のみんなに聞いてみた!

自分のこと・友達のこと・人とつながること

コロナ禍で遊びや学習に様々な制限があり、人と関わりが極端に少なくなりました。寂しい思いを経験した人も多かったことでしょう。そこで、今、小中学生のみんなは、周りの人との関わりについてどう感じているのか、それが心や体の健康とどうつながっているのかについて調べてみました(令和5年6～7月、県内の公立小中学生約44,000人を対象にアンケートを実施しました)。



ライブ授業前

今年もセンター校とリモート校では、「事前ワークショップ」を行ったよ。ゲームを通して、友達のことを知ったり、演劇ワークショップで相手の立場に立って考えたりしたよ。

リモート校
○新居浜市立中萩小学校
○上島町立岩城中学校
○伊予市立北山崎小学校
○松山市立余土中学校

サテライト校 408校

今年もライブ授業の前夜にミニ動画を見て、ご自身の生活を見直したり、クラスで話し合ったりしたよ。

相談窓口

いじめ相談ダイヤル24
SNS相談ほっとえひめ
中高生専用

5分間のショートストーリー

愛媛県 YouTube 公式チャンネルで公開中。みんな見てね。

先生方から

【いじめSTOP!】デー後のみんなの様子について
【いじめSTOP!】宣言を掲げたり、校内放送で発信したりすることで、学級・学校全体の意識が向上している
「人として人らしく」関わってほしいという声が多く聞かれました
互いのよさを認め合い、話し合う姿勢が育ちつつある
自分自身を振り返る機会が、周りの人に意識を促していることに気付くようになった
全員が一斉に「いじめを許さない」「いじめが起こる雰囲気をつくらない」といった気持ちをもちつつあった
いじめ防止ポスターを作成したという声が上がりました
学習発表会で同じテーマをすることにした

スペシャルゲスト あばれる君

小中学生の真剣な話し合いや、熱のこもった演劇を振り返りながら、「悩んでいるときには、友達に話すことで楽になることもある。気軽に話せる関係性をつくることが大切」と、笑顔を交えて話し合いを盛り上げました。また、日頃の友人とのよりよい関係づくりについては、「自分に厳しくしすぎないといひ。そう考えることで自分は楽になった」と、自らの経験を交えて、子どもたちにエールを送りました。

アドバイザーから

西原勝利先生 (愛媛県教育カウンセラー協会代表)

ライブ授業後半

「みんなと違うな」と感じることに
「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

まとめ

「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

ライブ授業中

わだしのホンネ

先生方から

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために必要なこと

令和5年度 人権ポスター特選作品

人権尊重の意識を高めるためのポスター展

「見えないうからこそ 敬愛と愛を」

西条市立東予東中学校 3年 敬智 彩葉さん

「心を通わせて 個性を認め合おう」

八幡浜市立立戸岡小学校 6年 吉川 陸さん

「人生 自分で」

愛媛県立今治高等学校 1年 木原 涼帆さん

愛媛大学教育学部の学生の皆さんから

会場にいる人だけでなく、モニターの向こうにいる小中学生を見て一つのテーマについて考えている様子で印象的でした。「みんな安心して過ごすことのできる学級・学校」は、どの学校でも目指していきたいものだと思います。そのために、今回のライブ授業で出た意見一つ一つに取り組みことができれば、それは実用できると思います。学びの機会や個性をもった人と関わり合いながら、互いを尊重しようとする皆さんの姿勢を見て、すばしかったです。今後もよりよい学校生活を送るために、ライブ授業で考えたことを大切に、実行していくください。

ライブ授業後アンケート

「いじめSTOP!」デー後のアンケートに、たくさんの回答・意見が届けられました。

話をよく聞くこと	10,839
話をよく聞くこと	11,243
お互いを大切にすること	12,190
お互いを認め合うこと	10,955
失敗や苦しみは仕方ないこと	9,685
その他	